



類別 機械器具 18 血圧検査又は脈波検査用器具
一般医療機器 一般的名称 アネロイド式血圧計 JMDN 16156000
販売名 **タイコスシルバーリング血圧計**

【警告】

<使用方法>

カフに熱いアイロンを当てないでください。
10mmHg以上の圧を10分以上患者さんにかけないでください。患者さんにストレスを与え、循環を妨げ、末梢神経を損傷する可能性があります。チューブにはルアーロックコネクタが含まれています。誤って静脈輸液ラインに接続され、血管内にエアが送られる危険性があります。輸液ラインに誤って接続されていないことを確認してから血圧測定をしてください。

***【形状・構造及び原理等】**

1. 構成

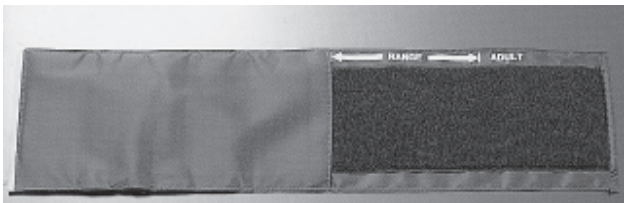
血圧計、カフ、添付文書

2. 寸法及び重量

新生児用カフ：5.3 (幅) × 18.8 (長) cm
乳児用カフ：7.4 (幅) × 26.1 (長) cm
小児用カフ：10.4 (幅) × 35.3 (長) cm
大人用カフ：14.0 (幅) × 53.8 (長) cm
大人用特大カフ：17.3 (幅) × 64.8 (長) cm
大腿用カフ：21.6 (幅) × 77.5 (長) cm



シルバーリング



血圧カフ

*** 3. 原理**

上腕に巻いたカフを加圧後、徐々に減圧します。その際に、聴診器によってコロトコフ音を聞き取ります。音が聞こえ始めた時のカフ圧(最高血圧)と音が消失した時のカフ圧(最低血圧)を圧力計から読み取って、患者さんの血圧を非観血的に測定します。

CEマーク：本製品は「93/42/EEC医療機器についての指示」に示される内容によりテストされ、その条件に適合していることを示しています。CE0050

***【使用目的、効能又は効果】**

腕周りに巻きつける加圧可能なカフ、カフ内の空気圧を調節する弁、アネロイド式圧力計から構成される機器をいう。

***【操作方法又は使用方法等】**

1. 取り扱い方法

患者さんは座り、リラックスし、できる限り楽な状態にしてください。腕には衣類が無い様にしてください。腕は心臓と水平の位置を保ち、安定しスムーズな面に置いてください。肘は少し曲げてください。測定針がゼロを指していることをご確認ください。ゼロを指していない場合、直ちに使用を止め、IMI(株)が認定するサービスマンへ点検に出してください。腕に適合した適正サイズのカフを選んでください。カフを腕に巻いてください。その際、artery(動脈)記号が上腕動脈の上になるようにしてください。ante-cubital crease(肘の線)より約2.5cm上にカフの下側の端がくるようにしてください。

トリガーをアウト(PUMP)の位置にし、バルブ(送気球)を使い、カフを急速に膨らませてください。予想される最高血圧よりも約30mmHg高い圧(あるいは触診可能な圧)までカフを膨らませてください。

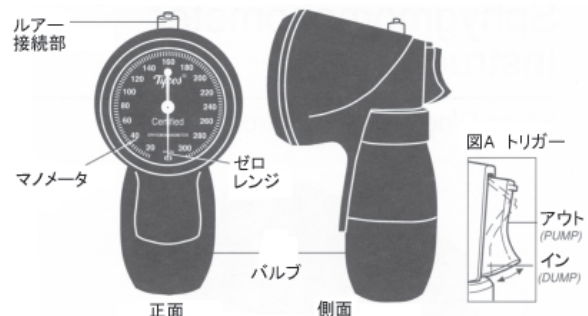
注：トリガーはアウトの位置にしてください。アウトの位置にしない場合、カフは膨らませません。

聴診器(シルバーリングには含まれていません)のベルあるいはダイアフラムを上腕動脈に軽く当て、血圧計の針を観察。抵抗が感じられるまでトリガーを軽く押し、カフをゆっくり減圧。トリガーが抵抗を感じる点を越えて押し込まれると、減圧率が急速に高まります。測定中は減圧率が2~3mmHg/秒となるようにしてください。

カフ圧が低下する際に、反復音(コロトコフ音)が初めて現れる点(時相I)を最高血圧として記録してください。

反復音(コロトコフ音)が消える点(時相V)を最低血圧として記録してください。

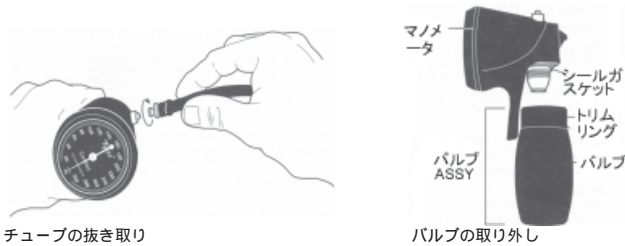
トリガーをいっぱい引き、ロック。最大の減圧率となります。あるいはイン(DUMP)の位置にしてください。



これでカフが完全に減圧できます。
人差し指を上を押して、トリガーをアウト(PUMP)位置に戻してください。

2. カフ、バッグの交換

取り付けられているカフ、バッグを取り除く際は、ルアー接続部の近くのバッグのチューブを持ちながら、チューブを反時計方向に回してください。チューブは簡単に取り外しできます。新しい、あるいは異なるサイズのカフ、ブラダーを取り付ける時は、チューブが抜けなくなるまでルアー接続部に差し込んでください。



チューブの抜き取り

バルブの取り外し

3. バルブ(送気球)の交換

バルブASSYを反時計方向に回して外してください。ガスケットが痛んでいる場合、マノメータ部分からシールガスケットを外し、新しいガスケットと交換。新しいバルブASSYをマノメータに回しながら押し込んでください。バルブASSYがガスケットをしっかりシールできない場合、トリムリングをよりしっかりとバルブに締めてください。これによりバルブフィッティングがシールガスケットに届きます。バルブがしっかりとマノメータに取り付けられ、リーク(漏れ)が無いようになったなら、トリムリングをマノメータ方向(バルブから離れる方向)に回してください。マノメータに突き当たるまで行ってください。これによりバルブASSYが正しい位置に入り、使用中はずれなくなります。

【使用上の注意】

** < 重要な基本的注意 >

カフに表示されているインデックスラインが、二つの矢印により示されるライン内に必ず収まるようにしてください。インデックスラインの手前を指すようであれば、正確な血圧測定をするためにより大きなカフを使ってください。インデックスラインを越すようであれば、より小さなカフを使ってください。カフを長い時間加圧することによる副作用の発生を防止するため、できる限りカフは急速に加圧し、速やかに減圧を開始してください。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

保管・使用環境温度：0～46
保管・使用環境湿度：85%以下

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項

< キャリブレーション >

±3mmHgの精度を持っています。1年に1回は精度を点検(300mmHgまで加圧後、10mmHg/秒で減圧し、300、250、150、60mmHgの各点での精度点検)ください。このレンジをはずれる場合(水銀計や他のアネロイド式を使用時は±6mmHg)IMI(株)が認定するサービスマンに連絡してください。

< クリーニング >

** 血圧計：マノメータカバーは水を湿らせた布で清拭してください。その他の部分は水を湿らせた布、あるいはアルコール綿で清拭してください。

血圧カフ：湿った布で清拭。あるいは洗剤の中で洗浄。洗浄後は乾燥させてください。

布製カフとブラダー：洗浄前にバッグとチューブをはずし、チューブを閉塞してください。

ワンピースカフ：洗浄前にチューブを閉塞。フックとループファスナを閉じてください。洗浄後、カフを空気乾燥し、再度組み立ててください。

バッグ：少し湿らせた布で清拭してください。

< 滅菌・消毒 >

オートクレーブ・加熱滅菌方法をバルブ(送気球)・カフ・バッグに実施しないでください。カフにはグルタルアルデヒドを使用できます(これらの液を繰り返し使用した場合、カフが変色することがあります)。

2. アクセサリー (IMI 商品コード番号)

サイズ	色	カフのみ	バッグ	カフ&バッグ
			(本チューブ)	
新生児用	グレー	-	-	5082-07 (850 82 070)
乳児用	グレー	-	5089-25 (850 89 250)	5082-03 (850 82 030)
子供用	プリント	5082-18	5089-04 (850 89 040)	5082-62
成人用	黒	5082-59	5089-03 (850 89 030)	5082-56
成人用特大	黒	5082-61	5089-21 (850 89 210)	5082-58
大腿用	グレー	5082-11 (850 82 110)	5089-18 (850 89 180)	-

その他のアクセサリ バルブASSY 5086-04

【包装】

1個/箱

【主要文献及び文献請求先】

アイ・エム・アイ株式会社 商品・市場開発部
住所：〒110-0014 東京都台東区北土上野1-10-14
TEL：03-5246-9463
E-mail：support@imimed.co.jp

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者の名称：アイ・エム・アイ株式会社
住所：〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地3-3-12
TEL：048-988-4411(代)

輸入先国名：米国

製造業者名：ウェルチ・アリン社

WelchAllyn